

## ② 人間自体が持つ特性

情報を発信するのは、人間です。人間自体が持つ特性を知ることによって、コミュニケーションをより深く理解できます。



### 人間は偏見や先入観を持ってものを見がちである

乱暴者のA君が下級生の女の子を泣かせた!と思いきや、実は、下級生が泣いているのを見て、優しく声をかけていたところでした。このように、偏見や先入観を取り除くことはとても難しいのです。



### 人それぞれ、感じ方、考え方、価値観が異なる (国・地域・立場などによっても)

「まじめだね」と言われてうれしい人もいれば、いやな人もいます。人の価値観は多様であり、相手が自分とは違う価値観を持っている可能性が高いことを意識してコミュニケーションを行う必要があります。自分が絶対的に正しいと考えないことが大切です。



### ネット上では、リアルな世界と異なる人格になることがある

普段は、無口で目立たない人が、ネット上では活発でリーダーシップを取る人になることがあります。逆に、普段は温厚な人が、ネット上では攻撃的な発言をすることもあります。ネット上での発言は慎重に行う必要があります。



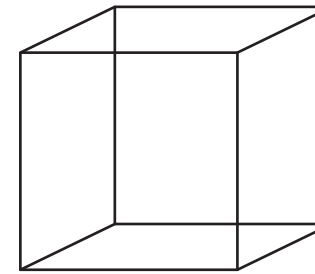
### 人間は正義感から残酷な行動をすることがある

人は、悪いことをしているといううわさのある人を、事実を確かめる前に正義感から徹底的に攻撃し、ときには無実の人を傷つけたり、死に追いやったりすることがあります。事実を確かめる慎重さと冷静さを持つことが大切です。

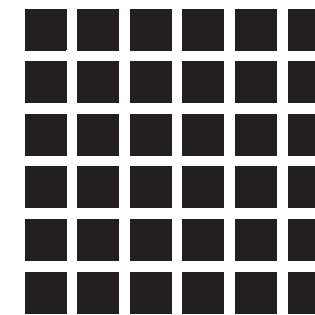
### 自分よりも弱い者をいじめる心理

人は、自分の優位性を確かめるため、自分より弱いものをいじめがちです。むしろ、優位に立っているときこそ、心のゆとりを持って、誰にでも優しくするようにしましょう。

ネッカーの立方体



あなたは、上の立方体が、右上から眺めているように見えますか? 左下から眺めているように見えますか?



上の図の白い線の交点に、ありもありませんもない灰色の丸が見えませんか? こういう現象を「錯視」といいます。人間の脳は空間があると埋めようとするなど、能動的に情報処理しています。見たものは絶対に真実とは限らないので注意しましょう。

### 人間は、同じ情報を違うように見ることがある ありもしないものを見ることもある



### 同調性バイアス：人間は周りに合わせがちである

人は、周りが積極的だと自分も積極的になるなど、周囲の雰囲気にならざるを得ません。本当はAでもBでも良いと思っているのに、周囲の人が「Aに賛成」と言っていると、根拠もなくAの意見に同調したい気持ちになることもあります。周囲に流されずに自分の意志で物事を判断するように心がけましょう。



### 人間は閉じたグループを作り、仲間はずれを作ることによって、絆を確かめがちである

聖徳太子の時代から「和を以て貴しとなす」といわれているように、人間はともすると仲間はずれを作ったり、争ったりしがちです。現在は、SNS上でも、閉鎖的なグループを作り、仲間はずれを作ることによって、自分たちの絆を確かめようとする姿も見受けられます。



### 正常性バイアス：人間は危機的な状況でも大丈夫と考へがちである

人は、危険な状況にあるのに、「これまで大丈夫だったから、今回も大丈夫」「自分だけは大丈夫」と、正常な方向へ偏った判断をしがちです。客観的に見て最も重大な結果をもたらす可能性について考え、早めの行動をすることが大切です! 洪水時に避難しなかったり、地下鉄火災で逃げなかったりして命を落とした方もいます。

